

1. 17年3月期決算の概況

(1) 三井住友銀行（図表 1-1）

〔業務粗利益〕

17年3月期の業務粗利益は、将来的なリスク要因の削減のために、国債等債券に係る含み損処理を行ったことを主因として、計画を771億円下回る1兆5,229億円となりました。

〔経費〕

経費につきましては、人件費が人員の削減等により減少したことから、計画を176億円下回る5,824億円となりました。

〔業務純益〕

以上の結果、一般貸倒引当金繰入前の業務純益は計画を595億円下回る9,405億円となりました。

〔臨時損益その他〕

臨時損益に計上される不良債権処理損失額につきましては、1兆3,063億円となりました。なお、一般貸倒引当金はネットで戻し入れとなったことから、戻入益3,515億円を計上しており、不良債権処理損失額と一般貸倒引当金の戻入益を合計した与信関係費用は、計画を5,048億円上回る9,548億円となりました。

また、株式等関係損益につきましては、将来的リスクを抜本的に削減する観点から、債務者の金融支援目的で過去に取得した優先株の減損処理等を実施したことにより、1,187億円の損失となりました。

〔経常利益〕

以上の結果、経常利益は計画を5,517億円下回る717億円の損失となりました。

〔特別損益〕

特別損益は、不動産処分損、退職給付会計基準変更時差異償却等により284億円の損失となりました。

[当期利益]

以上の結果、当期純利益は計画を 3,868 億円下回る 1,368 億円の損失となりました。

(2) 三井住友フィナンシャルグループ (図表 1-2)

17 年 3 月期連結決算は、三井住友銀行の損失計上を主因といたしまして、連結経常利益は 303 億円の損失、連結純利益は 2,342 億円の損失となりました。

また、17 年 3 月末の連結自己資本比率は、9.94%となりました(図表 2)。

(3) 剰余金の推移

以上の結果、17 年 3 月期における三井住友フィナンシャルグループ及び当社 100%出資子会社合算の剰余金につきましては、1 兆 6,488 億円となりました。

<剰余金の積み上がり状況>

(億円)

	16/3 月期 実績	17/3 月期 計画	17/3 月期 実績
期末合算剰余金(注)	17,964	17,983	16,488
その他資本剰余金	8,985	8,985	8,985

(注) 三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行、三井住友カード、三井住友銀リース、日本総合研究所の剰余金合計